# 様式第１号の２（第７条関係）

**記載例（子ども食堂　拡充枠）**

**事　業　計　画　書**

|  |  |
| --- | --- |
| 団体(又は個人)の名称 | ○○グループ  主催団体名を記載。 |
| 代表者名 | 別紙同様 |
| 設立時期・活動始期 | 同上  子ども食堂　運営補助枠も申請している場合、別紙同様と記載してください。 |
| 会員数・会費 | 同上 |
| 申請事業名（仮称可） | 同上 |
| 活　動　目　的 | 同上 |
| 活　動　内　容 | 子どもが地域の高齢者と交流しながら簡単な料理を一緒につくり、食卓を囲むことで、子どもの孤食や居場所づくりに取り組んでいる。また、それに加え、学びの支援（例１～４参照）を行う。  (例１)学生ボランティアを募り、子どもたちへ宿題の支援を行う。また、高校生や大学生と話をすることで、進学への具体像を描いてもらい、学習意欲の向上に繋げる。  (例2)学生や地元有志によるサッカー教室等のスポーツ教室や、スポーツ大会を開催する。  (例3) 子どもたちが夢や希望を持って成長していけるように  多彩な職業の方(保育士、新聞記者、消防士等)を講師として招き、キャリアスクールを実施する。  (例4)留学生等に、自国の言葉、文化を話してもらう交流会、自国の料理を披露してもらう料理教室を実施する。多文化共生の促進を図る。  ・子ども食堂としての活動内容  （運営補助枠の計画書を提出する場合、省略可）  ・どのような学びの支援（学習支援、スポーツ、芸術活動、キャリア教育、グローバル・多文化教育、等）を行うか記入。 |
| 主な活動場所 | 別紙同様 |
| 助成を受けたい活動内容とその理由 | (例1)上記の学習支援を行うにあたり、電気スタンドやホワイトボード、参考書の購入に使用したい。  (例2)上記のスポーツ活動をするにあたり、サッカーボールや、ビブス、用具収納用品等の購入に使用したい。  (例3)キャリアスクール実施にあたり、職業を学べる書籍や教材の購入に使用したい。  (例4)多文化理解のための書籍や教材の購入に使用したい。 |
| 主な参加者層 | 小学生、中学生 |
| 広報・周知方法 | 新規企画であるため、Facebookやインスタグラム等のSNSでの  広報にも力を入れる。 |
| 活動の継続性 | 助成金を活用して、備品を購入し、今後も本事業を定期的に開催できるようにする。次年度開催へ繋がるよう参加者や協力者を一定数集める。  資金、スタッフ、利用者の確保、自己収入の増加、他団体との連携体制等、一定の計画性があることを記入。 |
| 今後の活動の展開 | 開催にあたり、大学生や地域の○○団体に、運営サポートを依頼している。地域の多様な主体と連携し、地域コミュニティの活性化にも繋げていく。  事業の広域化や支援内容の充実（活動規模、利用者のニーズを受けての変更点、）を図るための計画、数年後の事業展開の構想を記入。 |
| 関係団体や機関等との  連携体制 | ○○大学や○○高校の教員及び学生、○○スポーツチーム  提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。  提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。  提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。  提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。 |
| 活動の独自性・先進性 | 地域の学生や学習指導経験者等に協力を得て、塾に通えない子どもや、自宅で勉強に取り組めない子どもたちに学習の機会をつくる。  また、学生と接する機会を作ることで、学習意欲が向上したり、将来の目標を持ったりする子どもを増やす。  事業の独自性や先進性、団体の特性、他の団体の模範となる点を記入。 |
| 見込まれる効果 | ・子どもの参加延べ人数　○名  ・将来の目標（進学や職業等）を持てた子ども　○名  ・ボランティアの参加人数　○名  ・子ども達の学習意欲の向上、自己肯定感の向上を目指す。  ・ボランティアは、できるだけ近隣から募り、子どもたちを地域全体で見守る意識を醸成する。  事業実施を通して見込まれる効果を数値や文章で記入。  実績報告時に、結果を成果として記載していただきます。 |
| 衛生管理体制  ※第２条１項６号の活動に対し、助成を受けようとする場合のみ記入 | 記載不要 |
| 市から受ける他の助成金等 | 無し　・　有り（　○○助成金　　） |

民間の助成金等を受けている場合、その名称を記入。

同事業に対して、市の助成金を受けている場合は、助成の対象となりません。